

特別講演 1

「With ARNI 時代の降圧療法の戦略的アジェンダ」

大西内科ハートクリニック 院長

大西 勝也 先生

高血圧治療ガイドライン(JSH2019)において早朝家庭血圧の降圧目標値が75歳未満において125/75mmHg未満、75歳以上において135/85mmHg未満に設定された。75歳以上でも、脳血管障害、冠動脈疾患、CKD、糖尿病、心房細動を有する患者においては、125/75mmHg未満となっている。

降圧目標値125mmHg未満ということは、早朝家庭血圧が原則的には毎日125mmHg未満でなくてはならない。高血圧治療は、大規模臨床試験やガイドラインに基づいた治療を基本とするが、それだけでは十分低下しない患者に対しては、個別治療が必要になる。そのためには、降圧薬の作用メカニズムを理解する必要がある。本講演では、食塩感受性に焦点を絞り、既存の薬剤と新規降圧薬であるサクビトリルバルサルタンについて解説する。さらなる情報は演者のYouTubeチャンネルである心不全心機能アカデミーにて発信中である。